

スズキ、新型「DR-Z4S」、「DR-Z4SM」を日本で発売



新型「DR-Z4S」



新型「DR-Z4SM」

スズキ株式会社は、2024年11月にイタリア・ミラノで開催された「EICMA 2024（ミラノショー）」で発表したデュアルパーパスモデルの新型「DR-Z4S」及びスーパーモトモデル^{※1}の新型「DR-Z4SM」を10月8日より日本で発売します。

新型「DR-Z4S」は、街乗りやワインディングなどのオンロードから本格的なオフロードまで幅広く楽しめるデュアルパーパスモデルです。新型「DR-Z4SM」は、「DR-Z4S」の走行性能を活かしつつ、日常使いからサーキット走行まで多様なライディングを楽しめるスーパーモトモデル^{※1}です。新搭載の電子制御システム S.I.R.S.（スズキインテリジェントライドシステム）には、G（グラベル）モードを含む STCS（スズキトラクションコントロールシステム）、SDMS（スズキドライブモードセレクター）、解除モード付 ABS^{※2}を採用し、ライダーのスキルや路面コンディションに応じた多様なライディングが可能となりました。さらに、アグレッシブなスタイリングデザインに加え、LED 灯火類や LCD メーターを備え、先進的な外観としました。

※1 オフロードバイクにオンロードタイヤを装着して舗装路面とダート路面の混在したコースを走行してスピードを競うレースから生まれたカテゴリーです。

※2 DR-Z4S はフロント・リヤまたはリヤのみ解除可能、DR-Z4SM はリヤのみ解除可能です。

● 年間目標販売台数 DR-Z4S 400 台（日本国内） DR-Z4SM 800 台（日本国内）

● メーカー希望小売価格（消費税 10% 込み）

商品名	エンジン	価格（円）
DR-Z4S DR-Z4SM	4 サイクル 398 c m ³	1,199,000

* 価格には、保険料、税金（消費税を除く）、登録等に伴う費用は含まれません。

● 「DR-Z4S」 「DR-Z4SM」 の主な特長

デザイン

- ・マシンの進化と存在感を具現化した、アグレッシブでフレッシュなスタイリング
- ・俊敏な走りを強調する水平基調のサイドライン
- ・シャープでフラットなラインを強調し、余分な要素をそぎ落とした本格的なギアであることを表現
- ・ハイビームとロービームの切り替えができるコンパクトな「バイファンクション LED ヘッドランプ」を採用

装備

- ・新搭載の SDMS(スズキドライブモードセレクター)は、スロットルレスポンスの特性が違う 3 つのモードを設定。最もシャープな「モード A」、適度な「モード B」、マイルドな「モード C」とし、走行シーンや路面状況、好みのライディングスタイルに合わせて選択が可能
- ・「フューエルインジェクションシステム」を採用し、電子制御スロットルと合わせて、始動性や加速性を向上
- ・操作力軽減と減速時の車体安定性の向上に貢献する「スズキ・クラッチ・アシスト・システム」を採用
- ・「DR-Z4S」はオフロードでの使用を想定したフロント 21 インチ、リヤ 18 インチの「IRC 製 TRAIL WINNER GP-410」を採用
- ・「DR-Z4SM」はスーパーモトのポテンシャルを最大限引き出す、前後 17 インチの「ダンロップ製 SPORT MAX Q5A」を採用

エンジン/車体

- ・398 cm³水冷 4 サイクル単気筒 DOHC エンジンを搭載し、最新の排出ガス規制に対応しながら走行性能を向上
- ・新設計のシリンダーヘッドの採用により、低回転走行時の粘り強さ向上と高回転域の出力向上を実現
- ・「デュアルスパークプラグ」を採用し、エンジン全域での燃焼効率とパフォーマンスを最大化
- ・新設計のピストンとクランクケースでメカニカルロスと提減し、スムーズな出力特性と高い燃費性能を両立
- ・車体には新設計の「スチールパイプ製セミダブルクレードルフレーム」を採用

以上